

第3回 久住中学校跡地活用検討委員会 会議録

■日時：令和6年3月26日（火） 19時～20時15分

場所：久住公民館

■出席者：委員 11名

アドバイザー 1名

理事・教育総務課長・事務局（財政課）

■次第

1. 開会あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 第2回 検討委員会の協議結果について
4. 教育委員会からの報告
 - ① 久住小学校と白丹小学校の統合先としての活用について
5. これまでの検討委員会及び地域住民意見聴取会の意見について
6. 委員の改選について
7. 次回開催について
8. 閉会あいさつ

■内容、委員から挙げた意見・質疑

3. 第2回 検討委員会の協議結果について

資料に基づき、第2回検討委員会の協議結果を説明した。

意見・質疑なし

4. 教育委員会からの報告

① 久住小学校と白丹小学校の統合先としての活用について

久住小学校と白丹小学校が統合した場合、旧久住中学校は統合先として活用しない旨を自治会長や保護者に説明し、了承を得たという報告を行った。

報告後、事務局から「統合先として活用しない旨の説明を終えたので、検討委員会での協議を再開しても良いか」との提案を行い、了承された。

5. これまでの検討委員会及び地域住民意見聴取会の意見について

・事務局から資料を読み上げ、これまでの検討委員会や意見聴取会で出された意見を報告した。

・令和6年度は、これらの意見を基に「誰がどのように久住中学校を使うのか」等について、委員の意見を聞きながら、活用方針をまとめていきたいということ、加えて視察研修の要望があれば、検討する旨の説明を行った。

併せて、今後久住中学校を市が直営することはない旨の説明を行った。

・都野中学校跡地活用検討委員会の進捗状況を報告した。

(都野中学校跡地活用検討委員会)

業種の条件は設定せずに全国から事業者を募り、活用事業者が決定するまでの間は、地域の団体等が使用したい旨の申出があった場合、貸出を行い有効に活用する。

－意見・質疑－

○ 時間が経過するとともに施設が古くなるので、活用者の募集を早めに行った方がいいのではないか。

(募集対象について)

・業種は限定せず、多分野の募集提案を受け付けた方がいいのではないか。

・先行して市内の事業者を募集した方がいいのではないか。

・市内に限らず全国の事業者も含めて募集をした方がいいのではないか。

(周知について)

・ホームページのみならず、市報やケーブルテレビ、SNSを活用し、加えて久住・白丹自治会長会においても周知すると良いと思う。

・募集の際は、竹田市の市政等の情報も掲載すると応募を検討している事業者にとっ

て有難いと思う。

⇒ 募集時期や業種条件、募集方法等の募集に関することについては、委員の改選があることから、次回の検討委員会で協議したい。

○ 検討委員会の進捗状況を自治会長会でお知らせしたらどうか。

⇒ お知らせする。3月に開催された久住、白丹自治会長会では報告できる状況ではなかったため見送ったが、例えば、事業者を募集すること等、検討委員会で決定されたことがあれば、自治会長会でお知らせしたい。

○ 施設を貸付する場合は、文部科学省の承認が必要か。

⇒ 必要。校舎、体育館とも文部科学省の補助金を活用しているため、文部科学省に貸付承認申請を行うこととなる。ただし、グラウンドは補助金を活用していないため文部科学省の承認は必要ない。

○ 意見聴取会で出された意見はどう取り扱うのか。

⇒ 意見聴取会は、地域の方がどのような活用を望むのかを把握するために実施した。これまで検討委員会では合宿所や福祉施設等の具体的な活用策が出され、意見聴取会では防災拠点や就労環境を整える活用策が出された。ただ、市が事業等で久住中学校を活用することはない。いただいた意見は、活用事業者を選定する上で、判断材料として取り扱いたいと考えている。

○ 今後の検討委員会開催のスケジュールと開催内容を示してほしい。

⇒ 次回の検討委員会で示したい。また、視察研修についても協議したい。

【第3回検討委員会まとめ】

- ・募集する際、まずは業種に条件を付すかどうか検討し、先行して市内の事業者を募集するのか、全国募集をするのか等、募集に関することを次回検討委員会で協議する。
(募集案を示す)
- ・視察研修の実施について次回検討委員会で協議する。
- ・次年度の検討委員会開催スケジュールと内容を次回検討委員会で示す。
- ・次回検討委員会の開催は、白丹・久住地区自治会長会の開催時期も鑑みて日程を決める。

(次頁以降は当日配布した資料内容)

3. 第2回 検討委員会の協議結果について

■開催日：令和5年10月10日（火） 19時～20時35分

【結果】

- ・白丹小学校と久住小学校が統合する場合、久住中学校の跡地を統合先として活用しないと結論が出ないと具体的な話が進まない。
- ・教育総務課は、早急に関係者と協議すること。
- ・全国で取り組んでいる廃校活用の成功事例、失敗事例を学び、時間を掛けて久住地域に適した活用方針を決める。

4. 教育委員会からの報告

- ① 久住小学校と白丹小学校の統合先としての活用について

5. これまでの検討委員会及び地域住民意見聴取会の意見について

【誰が久住中学校を使うのか】

- 民間企業が活用する場合は、維持管理のことも考え短期活用ではなく長期活用する事業者が望ましい。
- 中学校跡地で何か事業を行いたいという人を集めることから始めるべきではないか。
- 地元の方が活用したいということも考えられる。地元を優先しつつ全国募集かける方向がいいのではないか。
- 企業誘致するのであれば、企業が長期に事業実施できるかどうかの判断も必要だと思う。
- 民間活用が困難であれば、第3セクターを立ち上げ施設運営を行う。
ただ、第3セクターは全国的に見て赤字であるため、これが困難であれば有志による活用がいいのではないか。
- 地域資源と絡める使い方をするのであれば運営は市、もしくは第3セクターが望ましい。

選択：① 全国の民間企業 ② 地元の民間企業、団体、住民 ③ 市

【久住中学校で何をするのか（活用具体策）】

- 島根県雲南市、徳島県美馬市、雲南市波多地区の廃校活用事例を紹介したい。
 - 島根県雲南市：小さな拠点施設
 - 徳島県美馬市：商店や公民館機能、歯科診療所の複合型施設
 - 雲南市波多地区：社協や市役所等の他団体が入り運営している波多マーケット
- 老人ホームや介護施設等の高齢者福祉施設、合宿所、研修センター、保育所として使ってはどうか。
- 高校生の部活の練習場として活用できないか。
- 現在の町民体育館が老朽化し雨漏りが発生している。また耐震もないことから久住中学校の体育館を町民体育館にすることも考えられる。
- 就労環境を整える、就労場所として活用した方がいいのではないか。
 - 兼業農家として生活できるように就労場所をつくってほしい。
 - 雇用の場をつくるなど、若い人が定住できるような活用を希望する。
 - 誘致する企業の業種にこだわりはないが、60歳以上の方もパートやアルバイトで働ける企業を希望する。
- 建物を取り壊して更地にして、活用する。
 - ランニングコストが年間170万円程、仮に30年維持するとしたら5,100万円掛かる。
 - 取り壊す費用もこの金額以上に掛かるかもしれないが、更地にしてイベント時に貸し出しを行う活用方法もいいのではないか。
- 防災拠点として活用する。
 - 南海トラフ地震等の大規模災害時の防災拠点として活用する。
 - 久住は、土砂崩れはあっても津波は来ない。大地震が発生した際、海岸沿い市町村の避難先として活用する。
- 企業が来て跡地活用することは困難だと思うので、企業誘致とは切り離して別に考えた方が良く思う。交流人口を増やすことが大切だと思う。久住中学校から眺める景色、フラット感（平地）がいいので、キャンプ場として活用し、白丹温泉や丸山地区で実施しているサップ等の地域資源と絡めるのがいいのではないか。
- 文部科学省が実施している「廃校活用プロジェクト」等を活用して民間企業、障がい者施設等の福祉施設を募集する。
- 活用が決まるまでの間、キャンプ場として利用してもらったらどうか。

【事業者施設（校舎・体育館・グラウンド）をどのように使ってもらおうのか】

- 1つの事業者が施設全体を活用して、維持管理するのが理想だと思うが困難だと思う。
 - 施設が大きいので、施設を区分けして活用することも考えられる。
- 事業等で使わない施設部分については宅地造成し、久住中学校周辺一帯を1つの街として活性化させることも考えられる。

選択肢：① 校舎、体育館、グラウンド全体 ② 校舎とグラウンド ③ 校舎一部 等
⇒ 利用範囲は、活用事業者の事業内容による

6. 委員の改選について

7. 次回開催について

開催予定 日時：4月～5月 19時から
場所：久住公民館